公益社団法人 富山県高等学校安全振興会

会　報

第13号（令和6年12月16日）

＜発行者＞
公益社団法人 富山県高等学校安全振興会
〒930-0018　富山市千歳町1-5-1
富山県教育記念館
ＴＥＬ　076－432－2810
ＦＡＸ　076－432－1501

ご　挨　拶

公益社団法人 富山県高等学校安全振興会
理事長　**西　能　　淳**

本年６月より理事長に就任いたしました西能淳です。日ごろより、富山県高等学校安全振興会が実施する、本県高等学校及び特別支援学校の児童・生徒等の安全に関する事業にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

本会は、「わが子の安全を願いつつも、お互いの連携のもとに、助け合いを推進していく」趣旨のもと、平成４年に発足し、法律の改正に伴い平成26年に公益社団法人に移行いたしました。主に児童・生徒の災害に関する共済金給付事業や安全教育の普及充実事業を行っております。

令和５年度の給付事業では、371件8,593,026円の給付を実施し、令和４年度と比較すると80件、約190万円減っています。次項の表にありますように２年続けて減少しました。この要因の一つとして、怪我予防の徹底に加え、生徒数の減少、熱中症対策としての部活動の中止などが考えられます。

いずれにいたしましても、今後も生徒の安全・健康及び健全育成に係る助成事業と広報活動を行い、事故の未然防止に一層留意していきたいと思います。

また、各校の急な事故や病気に対応できるようにＡＥＤを寄託していますが、本年度はバッテリーの更新時期を迎えたことにより、安全普及事業として、バッテリーの更新を７月に行いました。加えてパッドは予備用も含め２枚配備されております。昨年度に引き続き、本年度も来年３月には、もう１枚のパッドの更新時期を迎えるため、このパッドも更新する予定です。

こういった器具等は使用されることがないことにこしたことはないわけですが、もしもに備えて各加盟団体におかれては、改めて設置場所の周知の徹底などに努めていただきますようお願いいたします。

これからも会員の皆様のお役に立てる会としてご期待に添えるよう、役員一同努めて参りますので、相変わらずのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

助成事業

公益社団法人富山県高等学校安全振興会では、健康教育及び健全育成等に関する実践活動（生徒、保護者、教職員向けの講演会、研修会など）に助成金を交付しています。

令和６年度は18校（11月30日現在）に交付しています。

（主な講演内容の例）

- 感情の自己コントロール法に関すること
- ネット依存（トラブル）と健康に関すること
- 性、多様性に関すること
- 健康のための運動・スポーツに関すること
- 保健衛生や感染症等の病気に関すること
- 防災に関すること
- 良質な睡眠に関すること

ストレス対処法・リラックス方法を学ぶ
福岡高等学校

令和６年度定時社員総会について

令和６年度定時社員総会は、６月４日（火）富山電気ビルデイング５階大ホールにおいて集合型で開催することができました。

松山朋朗理事長の挨拶に続き、来賓を代表して富山県教育委員会生涯学習・文化財室の辻ゆかり室長より祝辞を賜りました。

総会では、令和５年度事業報告、令和６年度事業計画・収支予算書について報告がありました。その後、令和５年度決算（貸借対照表・正味財産増減計算書）、辞任（改選）に伴う後任理事・監事の選任について、原案どおり承認されました。

総会後の理事会において、代表理事（理事長）に西能淳理事が選定されました。

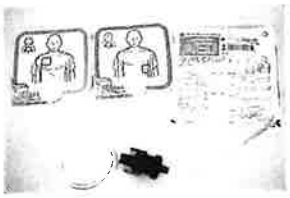
来年度の定時社員総会は、令和７年６月３日（火）に、ホテルグランテラス富山で開催する予定です。

ＡＥＤ用バッテリーを７月に交換 パッドは３月に交換予定

新型コロナウイルス感染症が第５類に移行となって２年目、感染対策をとりながら、授業、部活動などの学校生活もコロナ禍前に戻ってきました。

一方で、真夏日・猛暑日は増加傾向にあり、熱中症対策として活動制限も増えてきているかと思われます。

本年度７月にはＡＥＤのバッテリー交換をいたしました。来年３月にはパッドを交換する予定です。



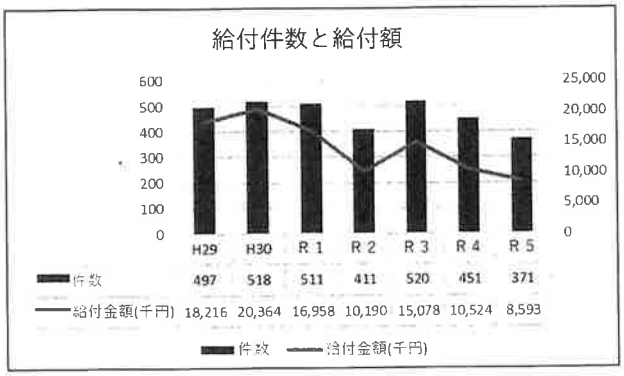
「パッド」

「バッテリー」

共済金の給付について

安全振興会では、独立行政法人日本スポーツ振興センターが災害共済給付を行った場合、死亡共済金、負傷共済金、後遺障害共済金等を支払っております。その中の負傷共済金は、学校管理下における活動中の傷害により、通院または入院した場合に補償し、日本スポーツ振興センターの災害給付金が２万円以上（同一傷害）のものについて、その30％をお支払いしておりますので、該当する場合には、学校を通じてご請求下さい。

平成29年度からの給付件数と給付額は下記のグラフのとおりです。



令和５年度共済金給付事業について

令和５年度の共済金給付（新規）の概要（負傷共済金）は以下のとおりでした。

１　学年別

１年（33.2％）２年（43.7％）３年（23.1％）

令和４年度と比較すると１年生が約８ポイント減少、２年生が約８ポイント増加しました。

２　場面別

授業中（14.3％）部活動中（含試合）（72.7％）通学中（6.3％）その他（6.7％）

令和４年度と比較すると、部活動中の怪我は約11ポイント減少、授業中は約７ポイント増加、通学中は約３ポイント増加しました。

３　競技種目別

野球（17.2％）　サッカー（16.0％）バスケットボール（15.1％）

競技種目別の負傷上位は上記の３競技で、これは令和４年度と同じ傾向にありました。

４　負傷部位別

膝（19.3％）足関節（14.7％）指（13.4％）腰（10.9％）

負傷部位も令和４年度と同じく上記の４部位が多い傾向にありました。

助成事業報告

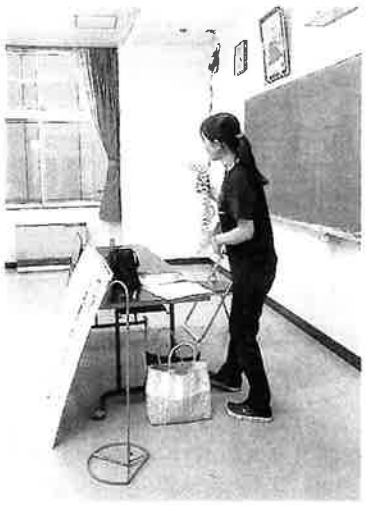
荒井学園新川高等学校　保健講話

「健康教室」　―元気の秘訣はからだづくりから―

「安全、健康教育および健全育成等に関する実践活動」に関わる取り組みとして、学期ごとに希望者を募り健康教室を実施しました。

自分の体の状態を知り、専門家から直接アドバイスや体操を学ぶことで、健康意識を高めることを目的としています。

1　取り組み内容



各学期に1回、放課後の時間を利用して会議室にて美容カイロエスティシャンの寺田美穂先生から、普段の姿勢や癖からくる体の歪みが頭痛、肩こり、腰痛などの体の不調の原因であることを学びました。

実際に自分の姿勢をチェックし、体の歪みを実感しました。その後、専用のゴムを使い、体の歪みを矯正し、骨格を正しい位置に戻す体操を体験しました。

2　生徒の感想

・姿勢チェックをして、想像以上に猫背になっていたことが衝撃的だった。定期的にチェックをして正しい姿勢を維持していこうと思った。
・頭痛や肩こりがひどく、なんとかしたいと思いこの講座を受講した。毎日できる体操を学べてよかった。
・体の歪みが体調不良につながっていることを知り、普段から姿勢に気を付けて生活していこうと思った。
・簡単で覚えやすい体操で、家でもできそうなので、これからも続けていきたい。家族にも教えてあげたい。
・2回受講して、体の変化を感じることができた。将来の健康のために学ぶことができた。

3　実践を通して

生徒の中には慢性的な頭痛や肩こりに悩んでいる生徒が多く、改善したいと考えていたことが分かりました。自身の姿勢チェックでは、初めて姿勢をチェックした生徒が多く、自分の姿勢や体の歪みに驚いている生徒がほとんどでした。自分の姿勢の状態を知った後の、体操では姿勢を改善しようと一生懸命体を動かしていました。また、一回限りの講座ではなく学期に1回と継続して実施することで、体の変化を実感できた生徒もいました。

この機会に自分の体を知り、改善方法を学び、実践できたことで生徒たちの健康意識の高まりを感じました。これからも継続し、より良い健康生活を実践してほしいです。

令和５年度事業・収支決算報告

【事　　業】

1　社員総会　　定時総会：令和５年６月６日　　みなし総会：令和５年７月27日
2　会　　議　　理事会　６回開催
令和５年５月９日、６月６日（第２回、第３回）、８月１日（書面）、８月23日（書面）
令和６年２月13日
3　調査研究事業　　令和５年度全国高等学校等安全互助会連絡協議会総会及び研究大会（鹿児島）
（令和５年12月８日・９日）
ＰＴＡ等共済法事務担当者会議等への参加（令和５年度は開催なし）
4　安全普及事業
（１）機器の整備　　ジャグタンク（令和５年７月）　ＡＥＤパッド（令和６年３月）
（２）広報事業　　安全振興会会報・手引書の発行及び加入案内の配布、ホームページの随時更新
5　助成事業　　生徒の安全・健康及び健全育成等に関わる実践活動への助成
6　給付事業　　共済金支払件数371件（負傷：370件、後遺障害０件、義歯１件）
7　香料給付事業　　３件

【収支決算】

1　収入の部　（単位：円）

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
事業活動	25,461,166	255,774	4,000,049	29,716,989
基本財産運用収入				0
特定資産運用収入	1,670	0	6	1,676
受入共済掛金	25,458,820	0	0	25,458,820
受入香料掛金	0	255,770	0	255,770
雑収入	676	4	4,000,043	4,000,723
投資活動	0	0	0	0
基本財産取崩				0
特定資産取崩				0
支払備金取崩				0
前期繰越収支差額	3,133,072	752,315	5,440,974	9,326,361
計	28,594,238	1,008,089	9,441,023	39,043,350

2　支出の部　（単位：円）

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
事業活動	15,377,630	176,270	4,115,662	19,669,562
事業費	15,377,630	176,270		15,553,900
管理費			4,115,662	4,115,662
繰入金				0
投資活動	12,101,793	0	0	12,101,793
基本財産取得				0
特定資産取得	12,101,793			12,101,793
固定資産取得				0
支払備金積立				0
予備費				0
次期繰越収支差額	1,114,815	831,819	5,325,361	7,271,995
計	28,594,238	1,008,089	9,441,023	39,043,350

令和６年度事業・収支予算計画

【事　　業】

1　社員総会　　定時総会：令和６年６月４日
2　会　　議　　理事会　４回開催
令和６年 ５月７日、６月４日、６月４日、令和７年１月28日
3　調査研究事業　　令和６年度全国高等学校等安全互助会連絡協議会総会及び研究大会（青森）
（令和６年10月10日・11日）
ＰＴＡ等共済法事務担当者会議等への参加
4　安全普及事業
（１）機器の整備　　ＡＥＤバッテリー（令和６年７月）・使い捨てパッドの交換（令和７年３月）
（２）広報事業　　安全振興会会報・手引書の発行及び加入案内の配布、ホームページの随時更新
5　助成事業　　生徒の安全・健康及び健全育成等に関わる実践活動への助成
6　給付事業　　共済金給付

【収支予算】

1　収入の部　（単位：円）

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
事業活動	24,962,795	249,860	4,000,020	29,212,675
基本財産運用収入	0	0	0	0
特定資産運用収入	5,000	0	0	5,000
受入共済掛金	24,957,595	0	0	24,957,595
受入香料掛金	0	249,860	0	249,860
雑収入	200	0	4,000,020	4,000,220
繰入金	0	0	0	0
投資活動	15,000,000	0	0	15,000,000
基本財産取崩	0	0	0	0
特定資産取崩	0	0	0	0
支払備金取崩	15,000,000	0	0	15,000,000
前期繰越収支差額	1,114,815	831,819	5,325,361	7,271,995
計	41,077,610	1,081,679	9,325,381	51,484,670

2　支出の部　（単位：円）

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
事業活動	33,642,874	290,126	6,148,000	40,081,000
事業費	33,642,874	290,126	0	33,933,000
管理費	0	0	6,148,000	6,148,000
繰入金	0	0	0	0
投資活動	18,000,000	0	0	18,000,000
基本財産取得	0	0	0	0
特定資産取得	3,000,000	0	0	3,000,000
固定資産取得	0	0	0	0
支払備金積立	15,000,000	0	0	15,000,000
予備費	100,000	0	0	100,000
次期繰越収支差額	▲ 10,665,264	791,553	3,177,381	▲ 6,696,330
計	41,077,610	1,081,679	9,325,381	51,484,670

【役　　員】

令和６年度理事・監事

○理事（９名）
西能　　淳（理事長）　　杉原　　栄（常務理事）
田中　宏育　　岩上　亜耶　　宮﨑　孝志　　青山　和也　　山村　紘次
大峯　静佳　　関口　正矩
○監事（２名）
平井　由貴　　冨樫　克哉

令和６年度審査委員会委員

伊藤　新一　　大西　正起　　山田真由美　　番留　幸雄　　濱元　克吉
簀　　美佳　　立浪　真美　　辻　ゆかり　　本江　孝一

編集後記

１年単位で見れば多少増減はありますが、ここ数年、真夏日（30度以上）等は増加傾向にあり、地球温暖化が進んでいることを体感せざるを得ません。

子どもたちの安全・安心、健康、健全育成のため、今後も精進してまいりたいと存じますので、当法人へのさらなるご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。